

全米で70店舗以上を展開する、アメリカのネットオークション代行サービス大手「スナッピーオークションズ」が、7月に日本上陸した。目黒通り沿いにある二号店は、ザ・アメリカンな原色を多様した店構え。しかしこの奇抜色の店のポテンシャルは、オークション代行にはとどまらない。

ネ

ネットオークション代行とは、売りたいものを預けるだけで、出品から落札者とのやり取り、発送までを行ってくれるサービスだ。会社は代行にあたる手数料で収入を得る。日本でも同様のサービスを行う会社はいくつかあるが、「スナッピーオークションズ」の大きな特徴は、リアル店舗を構えていることだ。

住宅街のスーパーの近く、という立地もあってか、主な利用者は店舗の近隣に住む方々。犬の散歩ついで、スーパーでの買い物ついでなど、とにかく、ついでに訪れては、家に眠っていた品々を預けていく。例えば近所の主婦、黒崎さんは「子供が大きくなって使わなくなったベビー用品をとりあえず、預けてみた。また、同じく主婦、丸山さんが預けた押入れの奥の、ロクマンのポスターには、なんと3万円の値がついた。他にも、パソコンのパーツにも興味があったご年配が、興味津々で店に訪れたのがきっかけでネットオークションに開眼する、なんてことも珍しくないそうだ。しかも品物を預ける時以外にも、ちょくちょくオークションの状況を聞きに、店を訪れるのだという。

「地域のコミュニティのような存在になれたらいいと思ってるんです」。そう話すのは、日本法人の社長を務める土屋晃さん。ショップのスタッフは、可能な限りお客さんの顔と名前を覚え、おまけに過去の出品物まで把握する。その心意気が嬉しくて、何度も通う

方々も少なくない。しっかりと店舗を構え、利用者コミュニティをすることで、ネットという仮想の世界を現実の中に根付かせていく。時には出品代行以外にも、個人で出品したいという人にオークションの手ほどきもするし、忙しい人やパソコンを持っていない人々の要望から、落札代行のサービスも実践的に始めている。

「ネットオークション代行って、実はとても幸せな仕組みなんです。例えばリサイクルショップの場合、店側も儲けを考えると安く買い取りたいわけですから、そこで駆け引きが生じます。でもネットオークションは、代行側も高く売ればそれだけ手数料が入りますから、高く売ろうとする努力を惜しまない。もちろん出品者の方も高く売れば嬉しいし、落札者の方だって納得してその価格で買いますし。とはいえある意味、賭けな側面もあります。それが、それも楽しんでいただければ」と、土屋さん。もちろん、リサイクルという面で環境にも貢献するし、使わなくなったモノに新たな価値と居場所を見出してやるという、クリエイティブな仕組みでもある。

出品するのは面倒くさい。見ず知らずの落札者とやり取りするのは少し怖い。中にはそんな事情から、知っただけが利用に至らぬケースが非常に多いネットオークション。捨てるより、眠らせるより、売る。これをスマートにできる環境が、今後もっと整うと素敵です。ちなみに私も取材のついでに、押し入れ奥深くにおわしましたバービーの彼女：を預けてきました。もちろんすべてお任せで。二週間以内には出品します。出品したらメールでお知らせしますね。美人スタッフの佐野さんの笑顔が、とても心強かった。パソコンの画面で確認できるのを、結構楽しみにしている。いくらで売れるかなあ。というか、売れるかなあ。バービーの彼女。

TOPIC 09

小林秀銀 / 撮影
根本美保子 / 文

もう一度、 ネットオークションという選択肢



利用者の黒崎さんと丸山さん。丸山さんはオークション初体験。たまたま店の前を通りがかった際、ベビー用品がディスプレイされているのを見て、自分も出してみようと思いついた。「写真も綺麗に撮ってくれるし、状態も詳しく書いてくれる。個人の出品物よりもずっとよく見せてくれます。家の近くというのも、便利ですね」と、丸山さん



スナッピーオークションズ下目黒店
☎03-5725-9770 東京都目黒区
下目黒4-11-16 <http://snappyauction.jp/> 出品した商品がもし落札されなくても、3回までなら再度出品が可能です。出品代行にあたり、落札金額に対して所定の手数料がかかります

